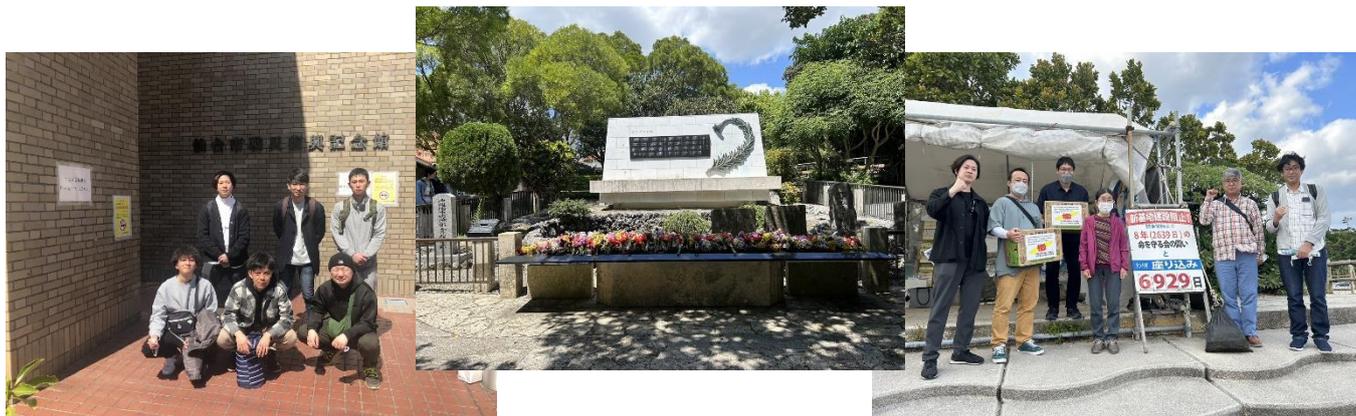


平和について真摯に学び、

各々が自分なりに考えた4月でした。



4月1日に地本青年部として仙台市戦災復興記念館を見学し、4月9日～11日に行われた貨物労組第22次沖縄平和研修には、東北から2名の青年部員が参加しました。

自分の暮らす町が戦争でどのような被害を受けたか、今の姿になるまでどのような歴史があったのか、皆さんは知っていますか？

戦争の犠牲になられた方々の名前や生前の姿、どのような状況で生きようとしたか、言わば、生きた証を知っていますか？

戦争を経験していない私たちが、現地で現物を見て、触れて、体験することは、平和を考えることはもちろん、尊い命を失った方々の供養になるのです。

例え政治に無関心でも、無関係ではられないのです。

皆さんも少しずつでも当事者意識を持ちませんか？